

微速前進

平成 29 年 8 月 29 日
発行：西中学校 No.5
文責：校長 児玉亮一

「夢をかたちに」の富士見市立西中学校

=たゆまざる 歩みおそろし かたつむり（彫刻家：北村西望）の精神で=



ゆっくりと学校が始まりました。自分発見の2学期に！

35日間の夏休みが終了しました。まだまだ残暑が続くようですが、生徒はもとより、ご家族にとっても楽しく充実した夏休みだったことと思います。

西中学校では、今のところ大きな事故や事件に巻き込まれたという報告もなく、始業式には元気な生徒たちの姿を見ることができました。



(校歌：指揮木藤くん、伴奏八戸さんこれまでありがとう)

この夏休み、嬉しいことに地域から善行の情報、そして県大会を始め全国大会で活躍する生徒が数多くいまし

た。(裏面参照)それぞれが全力を出し切り、西中学校の歴史に大きな足跡を残してくれました。また、猛暑の中でも多くの生徒が一生懸命に部活動の練習に取り組む姿に頼もしさを感じました。後半に入ると3年生が引退し、1・2年生が主役になりました。どの部も何だか小粒になった感は否めません。しかし、ここから新たに部員同士が苦楽を共にし、感動的なドラマを創り出していくのです。そんな彼らにエールを送り励ましていきたいと思ひます。

さて2学期は、生徒が主役で活躍する合唱コンクールをはじめ、様々な学校行事があります。各自が生き生きと活動し、新しい自分の力を発見していくことを願っています。

さて7月と9月は、残念なことに自ら命を絶つ子どもの数が多い月でもあります。

大人でも子どもでも、時に心の中に思いがけない穴がポツカリ開くことがあります。その穴には大きい小さいはあるでしょう。その穴の理由は、友からの何気ない一言であったり、友人とのトラブルであったり、はては家庭内のいざこざであったりと。

そんな時、人はポツカリと開いた穴を必死に埋めようとして、そうして力尽きる時があります。「いのちは大切だ。いのちを大切に。そんなこと何千何万回言われるより、『あなたが大切だ。』と誰かにそう言ってもらえるだけで生きていける。」というCMがありました。また、滋賀県で中2を担当している先生は、「父よ、母よ」という書き出しで生徒に書かせた作文の中で「父よ、母よ。もう中学生だけど、私が泣いたら抱きしめてくれますか。」という文に出会ったと報告しています。まだまだ揺れ動く、そして成長する中学生です。



「現代学生百人一首 東洋大学」から紹介します。

■辛いから逃げたくなるけど逃げないと決めた私は今日も靴をはく

駒込高校 1年 斉藤美奈

■諦めて丸めて捨てた過去の夢 皺を伸ばせばまだ叶うはず

朝霞高校 1年 芳村颯太郎

輝く西中生

学校総合体育大会埼玉県大会

男子バレーボール部 (県大会 第6位)

富士見西 2-0 松伏・松伏第二中学校

富士見西 1-2 蓮田・蓮田平野中学校

関東第四代表決定トーナメント

富士見西 2

- 1 深谷・深谷上柴中学校

富士見西 0-2 熊谷・熊谷東中学校

埼玉県中学生ビーチバレーボール大会

富士見西Aチーム 2位 Bチーム 3位リーグ優勝

全国中学生ビーチバレーボール大会 (優勝)

準決勝 富士見西 1-0 福岡・大宰府

決勝 富士見西 1-0 静岡・藤枝



ソフトボール部 (県大会 ベスト16)

富士見西 5-4 東松山・東松山南中学校

富士見西 0-10 朝霞・朝霞第三中学校

水泳競技

200M自由形 第1位 松森小夏 (全国大会出場)

100Mバタフライ 第1位 守友晃子 (全国大会出場)

200Mバタフライ 第1位 守友晃子 (全国大会出場)

100M自由形 第位 松森小夏

100M・200M平泳ぎ 予選出場 佐藤 颯

200M・400M自由形 予選出場 鈴木孝輔

全国中学校水泳競技大会

200Mバタフライ 第6位 守友晃子 (入賞)

200M自由形 予選出場 松森小夏

100Mバタフライ 予選出場 守友晃子

全国中学生かるた選手権大会

個人戦出場 河野有咲 松澤 奏

小学校学習支援ボランティア

小中連携の柱として針ヶ谷小学校の夏休み学習会に、本校生徒が学習支援者として参加し、漢字や計算練習の丸つけなどを手伝いました。

*関沢小学校は改修工事のため学習会を実施できませんでした。

月例集金のお知らせ

今月の振替日は **9月28日(木)** です。

口座残高の確認をよろしくお願いいたします。



地域の皆様からの声

7月下旬、地域の方から本校生徒、澤田介盛君、平原裕士君、平原敬士君の3名に対する感謝のお言葉を頂きました。

『近隣の路上で高齢の母がつかずいて転倒。顔面、肘、肘・膝・唇から血を流していたところ、生徒から「大丈夫ですか?」と声を掛けられ、止血等の応急処置を施してもらった後、3人が母の荷物を持って自宅まで送り届けてくれた。』とのことでした。

地域の「宝」である生徒がよりよい成長を遂げるよう全教職員で尽力して参りますので、引き続きのご支援をよろしくお願い致します。